

かわまたホーム ほほえみだより

発行
平成23年6月15日
第20号



安全・安心・ゆとり

川俣ホームは、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。

川俣ホームは、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

1枚の写真は一生の思い出

今回は意外にも初めての男性表紙、写真が趣味の齋藤真美様です。

昔から風景写真を撮るのが好きで、職員が行事の写真を撮る時も、的確なアドバイスをくださいます。

桜の季節になったので、ちょっと外に出て趣味の時間を楽しみました。その際見せてくれた素敵な笑顔と、真美さんが実際に撮った写真を表紙にさせていただきました。何気なく切り取った風景にも、撮影センスが感じられる一枚ですね。

施設内にも真美さんの写真展示コーナーがありますので、機会があれば是非皆様もご覧になってください。

祝 川俣ホーム10周年

震災後最初のイベントとして、開所10周年の記念式典を行うことが出来ました。皆様のいつも変わらぬご支援、ご協

力のおかげで、この日を迎えられましたこと、心より感謝を申し上げます。

10年前、川俣町の特別養護老人ホームは当ホームだけでした。今では特養だけで3施設あり、介護老人保健施設やグループホームも増えてきております。

これからますます創意工夫し、かゆいところに手が届く、皆様に選んでもらえる施設を目指し、サービス提供していきます。

そしてこの先何事もなく、20周年、30周年を迎え、また皆様と共に盛大に祝えますよう、職員一同心機一転し頑張っていきます！



手打ちのうどん、
ごちそうをふるまわれ
喜ばれました。

久しぶりのビールに
にっこり
(ノンアルコールです)



3年前に植樹して
いただいた桜もこんな
に大きくなりました。
今年、花見に行けな
かった特養入所者のな
ぐさめになりました。



特養運動会



今年の運動会、外に出られ
ない日々が続いたので、
皆様のうっぴんが晴れるよ
う工夫した競技を
行いました。



デイサービスセンター

春～お花見～

4月

好天に恵まれたある日の昼下がり…、散歩を兼ねてお花見に出かけました。

本来ならば、中央公園にお弁当を持って行く予定でございました。来年はきっと大丈夫！またみんなで出かけましょうね。



父ちゃん、
きれいだない
見てみっせま



今日は玄関前のしだれ桜をバックに記念撮影。「ふれあい橋」を渡って、中央公民館まで行って来ました。



おやつ作り

お花見に出かける事が難しい状況なので、おいしいクレープ作りをしました。

男性職員もホットプレートを前に悪戦苦闘の末、薄く生地を焼き上げ、とてもおいしく出来上がりました。



三月十一日の大震災！大きな揺れと停電で、エレベーターが止まってしまいました。その後、職員総出で利用者様をお一人ずつ、安全に玄関まで誘導致しました。震災後、二週間の利用中止となり、大変ご迷惑をおかけしました。そして現在、また皆様の元気な笑いが戻ってきました。その声を励みに職員一同頑張っていきたいと思っております！

③

震災から…
デイより



新サービス始めました

- ① 洗濯サービス
- ② 布団の抗菌・乾燥サービス
(布団乾燥車が入る3、6、9、12月に限り)
- ③ 追加利用サービス

4月1日から開始し、すでに多くの方がご利用されています。
詳しくは担当まで電話ください。

デイサービス お試し利用体験 実施中

※介護認定を受けていない方もどうぞ!!
ご家族同伴で見学
随時OK、窓口まで
お申し出下さい。

☎565-2881

無料



医務からのお知らせ

川俣ホーム開所十年の節目に、この四月から毎週水曜日、歯科往診が開始されました。

入所されている皆様の中には、歯科診療台へ移れない方も多く、歯の治療やケアが出来ない、歯医者に行きたくても行けない、そんな悩みを全て解消！

今回歯科往診を請け負ってくださった医療法人社団 譽会・山田満憲先生からのご挨拶です。

「東日本大震災で被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。」

四月より川俣ホームご利用者様のお口の健康のお手伝いをさせて頂いております。お口の健康（歯科）といえど、お口は消化器・呼吸器の内科的入り口に当たり、全身疾患の予防にも重要な役割をはたします。ご利用者様の目線に立ち、QOL（生活の質）を重視していきたいと思っておりますので、何でもご相談ください。

また、余震や原発事故の影響で不安な日々を過ごされている方々のお手伝いが出来ればと思っております。日本が好き！福島が好き！伊達が好き！



歯科医療の立場から、ご利用者様ばかりでなく、地域の皆様が元気になるよう頑張りますので、よろしく願います。」
とても熱いお言葉、ありがとうございます。



初回診療を終えて、「歯を見てもらえてうれしい」「入れ歯の調整してもらえて良かった。」「マッサージが気持ちよかったです。」等、多くの感謝の言葉が聞こえてきます。
歯の健康について質問等ございましたら、へお口の健康Q&A」まで是非お寄せください。

川俣ホーム行事予定表

8月 7日(日) 納涼祭	毎月第3火曜日	アニマルセラピー
9月11日(日) 敬老会	毎月第3週	平栗先生レク指導

編集後記

～震災を経て～



この度の震災で被災された皆様に、心よりのお見舞いを申し上げます。

幸いにも当ホームは、軽度のひび割れ等のみでけが人もなく、最小限の被害で収めることが出来ました。ライフラインも、数日後には全て復旧しました。

震災直後でガソリンも不足し、高速道路も不通の中、緊急車両の指定を取り、岩手より紙おむつ等を届けてくださったピジョンタヒラ様はじめ、支援物資を届けてくださった関係各所の皆様に、心より御礼を申し上げます。

また、ガソリンの確保が思うようにいかず、ショートステイの送迎に出られず、そしてデイサービスも休業となり、ご利用者の皆様には大変御迷惑をお掛け致しましたこと、心からお詫び申し上げます。

本当に、あの日からすべてが変わってしまいました。川俣町も山木屋地区が計画的避難区域に指定され、まだまだ先が見通せない状況が続いております。

このような震災は、起こらないに越したことはありません。ですが、経験したことで学ぶことも沢山ありました。職員同士や家族との絆も、確実に強くなりました。

私たち職員は、ここで、この川俣町で踏ん張ります。自分たちが出来ることを続けていきます。復興は地域からです。それぞれの地域の網がまた一つに繋がった時、日本はきっと元通りになります。

大丈夫、東北は、福島は、川俣は強い！負けない!!

かがやき隊・活動の様子 インタビュー

今回ご紹介させていただくのは、3月より裁縫のボランティアに来てくださっております、菅野みさ子様です。

〈活動のきっかけは？〉

ほほえみ便りのかがやき隊募集の記事を見てです。

〈みさ子様の裁縫歴についてお聞かせください〉

若い頃、東京の既製品を作る会社で働いていました。そこで縫い物の基礎を学びました。東京に出ていった頃は、川俣には縫製会社がありませんでした。東京から川俣に戻ってくると、どんどん新しい会社が出来始めていましたので、川俣でも働きました。自分の洋服はほとんど手作りで、今では仕事兼趣味になっています。

〈心がけていることはありますか？〉

とにかく細かい仕事、縫い物が好きなので、長く続けていられます。家でぼーっとしているより、好きなことをやっていたいです。ほけ防止にもなるし(笑)

同世代の人がカラオケに行くのと同じように、縫い物をするのがストレス発散になっています。

縫い物をしている時が、一番幸せな時間ですね。

みさ子様の丁寧な裁縫仕事には、職員一同感心するとともに、大変助かっております。いつもありがとうございます。

これからも末長くよろしくお願い致します。



川俣ホームボランティア
「かがやき隊」 輝きたい! 募集